

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 小規模多機能ホーム ハッピーハウス

施設種類： 小規模多機能型居宅介護

日時：令和 8 年 4 月 16 日(木) 午前 10 時 30 分～11 時 30 分

会場：出雲市東部健康交流館 うるおいの郷

出席者
(人数)

利用者、家族	1 人	高齢者あんしん支援 センター職員	1 人
地域住民の代表	4 人	出雲市職員	2 人
その他（ 施設役員、管理者 ）			3 人

(議題)

1. 登録実績と利用状況
2. 職員体制
3. 行事・レクリエーション報告
4. その他

(報告事項)

1. 登録実績と利用状況について

年齢、性別、介護度、家族状況、生活圏、月毎にサービス利用状況を報告。状態の変化に伴う援助内容の報告。

【別紙、サービス提供状況報告書を配布】

2. 職員体制

職員体制の報告。

人材確保について、外国人雇用も継続して行っていくが給与面や通勤の面に対応に苦慮する場面がある。

3. 行事・レクリエーション報告

お便り配布。2月節分にお茶会を開催。その前座として登場した赤鬼を皆さんで退治して頂きました。スタッフによる四季に因んだ曲の柕演奏を聴きながら、抹茶行とぜんざいを召し上がりました。

3月は地域から大正琴の会の皆さんにお越し頂き、たくさんの名曲演奏を聴きました。桜の開花に合わせて月末より花見に出掛けました。非常災害に備えた避難訓練や緊急時対応に心肺蘇生やAEDの取り扱いを訓練しました。

4. その他

【家族より】

★ハッピーハウスは『近くて遠いところ』の印象を持っていた。
今年の2月からどういう経緯か子供たちが連絡を取り合って相談して
利用に繋がった。夫婦二人で暮らして自分としてはまだ必要ない様に
思っている。物忘れはある。義父もそうだったが足が立つのでどこへ
でも歩いていく。心配しても仕方ないのでそれぞれに過ごしているが
日中に独りで居る不安はなくなった。

★地域の人もハッピーハウスの入り方、繋がり方が判らないのでは？

【地域より】

★コミセンでは看護学生の地域医療や高齢者福祉について研修の受入
予定があり、また施設にも一部対応を依頼したい。

★福祉委員や民生委員による地域社協の研修大会で講演を依頼したい。

★行政においてももっと小多機の素晴らしさを伝えて欲しい。

【行政より】

★小多機はひとつの事業所でサービスを通して利用者との信頼関係を
一体的に柔軟に強めていける特性がある。認定調査の段階で小多機の
特性についても説明を行って居宅選びに加えていく事と、事業所毎の
空き状況について毎月お知らせ頂く事を、今年度より開始とした。

【包括より】

★小多機はまるめの料金体制となるので経営面で厳しいように思う。
市内事業所も2か所の閉鎖が続いた。ハッピーハウスの南部エリアは
中山間地域で事業所数も少なくサービスも限られハッピーハウスへの
期待は大きく大変だと感じている。